

NS-8040R

NS-8080R

NS-8160R

**ネットワーク(遠隔監視)
とクライアントソフトの手引き**



目次

ネットワーク機能編

1. ネットワーク構築イメージ	3
2. ネットワークアクセス方法	3
3. ネットワーク環境の確認	4
4. ネットワーク設定について	4
5. DVR の設定	5
6. E-MAIL 機能	6-8

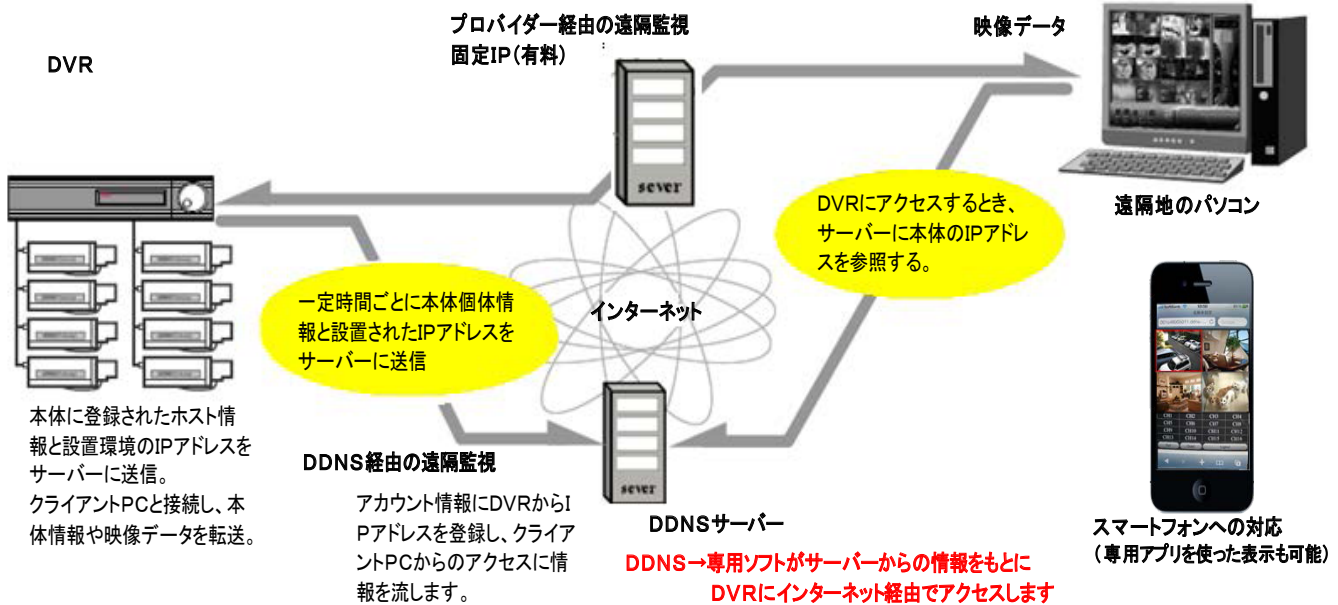
ネットワークソフトウェア編

1. 中央監視システムソフトウェア 概要 (Net Client)	9
1-1 プログラムのインストール	9
1-2 ログイン	10
1-3 メイン画面	10
1-4 コントロールバー	11-13
2. 各種操作	14
2-1 DVR 登録	15
2-2 録画データの再生 (リモート再生モード)	16
2-3 再生速度の操作	17
2-4 その他の操作	18
2-5 バックアップ操作	18-20
2-6 バックアップデータの再生	21-22
3. 設定変更	23
3-1 設定画面の表示	23
3-2 各画面について	23
①ユーザー	23
②DVR	24
③グループ	24
④カメラ	25
⑤システム	26-27
⑥イベント	28-29
⑦権限	29
⑧PTZ	30-31
スマートフォン使用	32-36

ネットワーク機能

ネットワーク機能を利用するためには、ご利用のネットワーク環境に応じた設定が必要です。事務所・店舗などではネットワーク環境が複雑なケースがございますので、ご契約のネットワーク管理会社様にご確認ください。

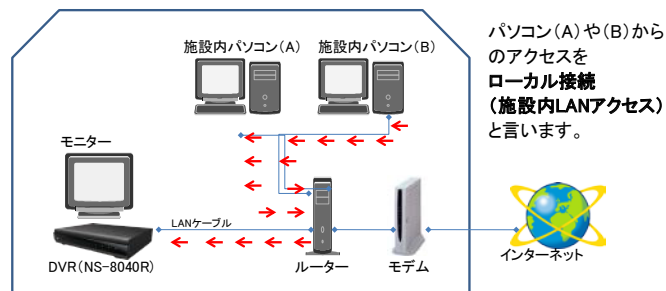
1. ネットワーク構築イメージ



2. ネットワークアクセス

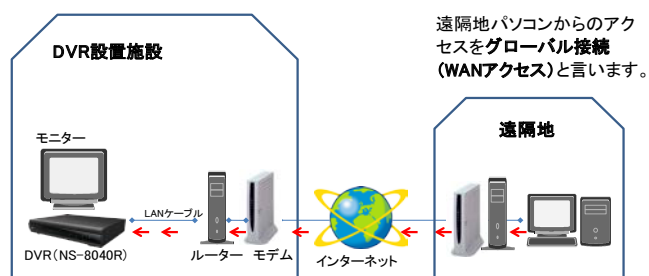
ローカル接続

DVRを設置した施設内でのみのネットワークアクセス



グローバル接続

遠隔地からインターネットを経由してネットワークアクセス



3. ネットワーク環境の確認

ローカル・グローバル共通

パソコン動作環境

OS	Windows7/XP/Vista (Mac非対応)
CPU	Pentium4プロセッサ1.7GHz以上
メモリ	XP: 1GB以上 7/Vista: 2GB以上
グラフィックメモリ	64MB以上
HDD	1GB以上(バックアップする場合はそれに応じた容量)
ブラウザ	Internet Explorer6.0以降

ブロードバンドルーター

IPアドレス変換[NATP/IPマスカレード]に対応

DVR・LANケーブル(イーサネット)

グローバル接続(遠隔監視)

インターネット環境(光回線などのブロードバンド推奨)

固定IPアドレス・または DDNSサービス

4. ネットワーク設定について

※本機器をご利用の施設においてネットワーク管理者が存在する場合、管理者の指示に従って設定を行ってください。

本機器において“ローカル接続”に必要なルーター設定は下記の通りです。

“本機器に対するIPアドレスの割り当て”

“本機器に割り当てたIPに対するポート指定”

ご利用中のネットワーク環境は様々です。必要に応じた機器設定を行ってください。

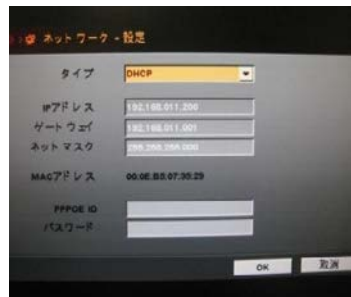
5. DVRの設定

メインメニューの「DVR設定」→「ネットワーク」→「設定」の順にクリックして「設定」画面を表示させます。



基本的には、STATICを選択してください。

(1) STATIC: STATICモードを選択した場合は、DVRに接続されているIPアドレスを入力します。タイプの項目には「Static」を選択します。IPアドレスの項目には任意のIPアドレスを決めて入力します。ゲートウェイ・ネットマスクの項目には、それぞれ該当するゲートウェイ・ネットマスクを入力します。(該当するゲートウェイ・ネットマスクが分からない場合はPCのすべてのプログラムの中から、「コマンドプロンプト」をクリックして「ip config」と入力し、ENTERボタンを押せば該当するゲートウェイ・ネットマスクが表示されます。最後にOKボタンをクリックして設定画面の設定を閉じます。



STREAM

ネットワーク転送と録画の2つの異なる解像度、画質、録画フレームを設定することが可能です。

DUAL STREAMING : “ON”を選択した場合は、記録レートとは異なるネットワークの転送速度を設定することができます。(解像度340×240で最大8fpsの伝送速度となります)

DUAL STREAMINGで“OFF”を選択した場合は、ネットワークの転送速度は、記録レートに従います。

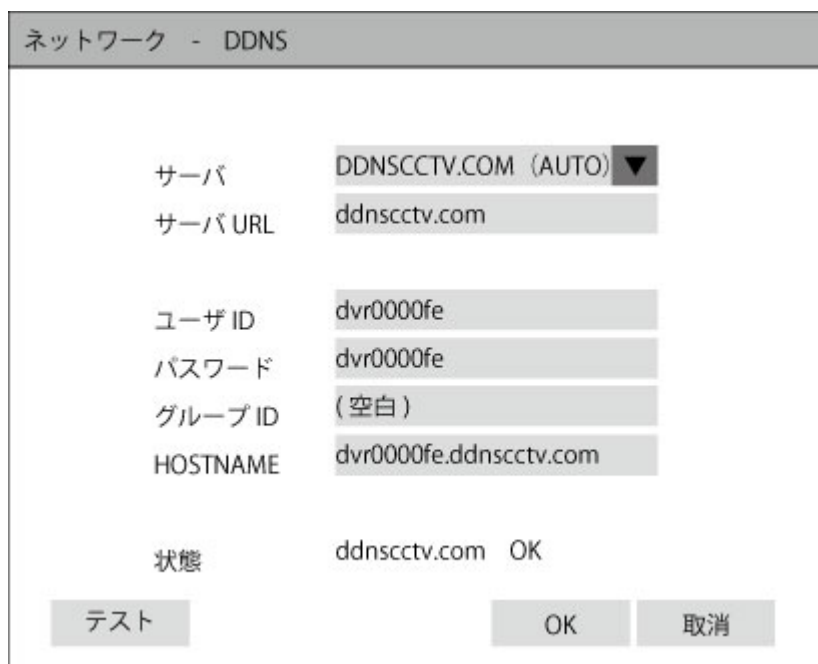


DDNS

DVRは、DDNS接続のDDNSCCTV.comをサポートします。

DDNSCCTV.COM(AUTO)を選択してください。

- サーバ - サーバの種類を選択します。「DDNSCCTV.COM(AUTO)」を選択してください。
- ユーザID/パスワード/HOST は自動的に作成されますので、表示内容を控えておいてください。これが接続時に使用するアドレスとなります。(下図のアドレスは一例です)
- 最後に、画面右下の「テスト」アイコンをクリックして、接続テストを行います。成功すると画面下部に「ddnsctv.com OK」と表示されます。



サーバ	DDNSCCTV.COM (AUTO) ▼
サーバURL	ddnsctv.com
ユーザID	dvr0000fe
パスワード	dvr0000fe
グループID	(空白)
HOSTNAME	dvr0000fe.ddnsctv.com
状態	ddnsctv.com OK

テスト OK 取消

クライアントポート

クライアントポートのリストからいずれかを選択し、Webポートにポート番号を入力します。

次にセットアップする時、この入力した値を覚えておいてください。

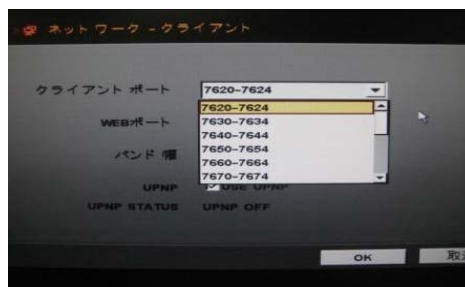
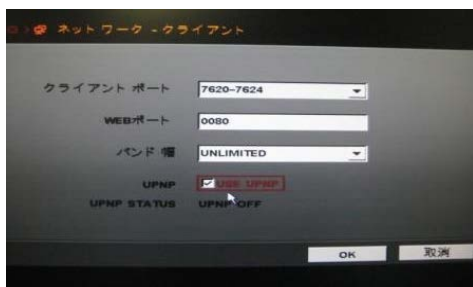
クライアントポートの合計16個の値は、便宜上7620-7624の範囲から7770-7774の範囲を選択できます。

UPNP(ユニバーサルプラグ&プレイ)

UPNP機能を有効にすると、ポートフォワーディングを行う必要はありません。(この機能を使用するためには、DVRが接続されているルータが同様にUPNP機能をサポートしている必要があります)

UPNPを確認した後、クライアントのポートと、入力したWebポートを選択します。他のネットワークデバイスに使用されているポートを選択した場合は、ダイアログメッセージは、“使用中のポート”とポップアップ表示します。

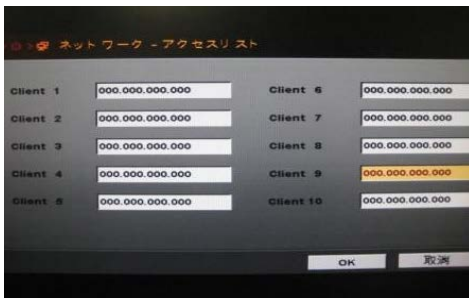
その場合は、別のクライアントポートおよび入力に使用されていない別のWebポートを選択します。



アクセスリスト

登録されたIPアドレスは、DVRへのアクセスが許可されます。

IPアドレスを入力した場合は入力したクライアントのIPアドレスのみDVRへのアクセスが許可されます。クライアントのIPアドレスを登録しない場合は、すべてのクライアントは、DVRにアクセスすることができます。



6. E-MAIL機能

メニューの中でイベントを選択すると、9つのサブメニューにアクセスすることができます

モーション、センサー、ビデオロス、E-MAIL、FTP、E-MAIL SCHEDULE、ALARM SCHEDULE、FTP SCHEDULE、その他

イベントが発生したときE-MAILで登録したメールアドレスに通知されます。3つのメールアドレスを登録することができます。EVENT E-MAILでオンを選択した後、EVENT TYPEを選択できます。

MOTION

POWER ON

SENSOR

HDD ERROR

VLOSS

EVENT E-MAIL : E-MAIL通知を使用するとき、ALL TIME (常時)を選択またはスケジュールを選択

EVENT TYPE : E-MAIL通知を使用するときのイベントの種類を選択

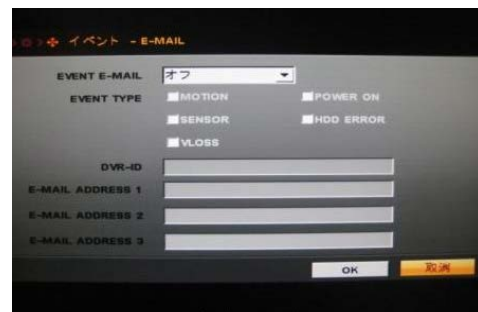
DVR ID : DVR名または文字を入力

E-MAIL ADDRESS : DVRからのイベント情報を受信するメールアドレスを入力
たとえば : anyone@gmail.com であれば下記のように表示されます。

例)

```
From : DVR@dvr.com
To : anyone@gmail.com
Sent: Friday, July 24, 2009 6:11 PM
Subject: EVENT MESSAGE

[2009/07/24 18:10:11] [testdvr/192.168.001.121] MOTION ch 1 ON
```



FTP

この機能では、指定したFTPサーバーへテキストを送信できます。

□FTP (FTPに送信するデータの種類を選択) : オフ、TEXT

□EVENT TYPE (FTPに送信するイベントの種類を選択します。) : MOTION、POWER ON、SENSOR、HDD ERROR、VLOSS



FTP サーバのIPアドレス、ID、PWを入力、テキストを保存するディレクトリを指定してFTPサーバに画像を表示します。すべてを入力後[OK]をクリックします。

- FTP Address: IPまたはFTPサーバのドメイン名
- Account ID: FTPサーバのID
- Account PW: FTPサーバのパスワード
- Directory Name: 転送されたテキストまたは画像を保存するFTPサーバのディレクトリ
- PORT: FTP転送に使用するポート

E-MAIL SCHEDULE

この機能は、EメールメニューのIVENT E-MAILの値にスケジュールを選択したときに有効になります。

選択した曜日、時刻に従って、DVRからメールを取得することができます。

ALARM SCHEDULE

任意の曜日または時刻を選択すると、選択された時間帯にイベントが発生したとき、イベントの各サブメニューで設定した内容に従ってアラームが出力されます。

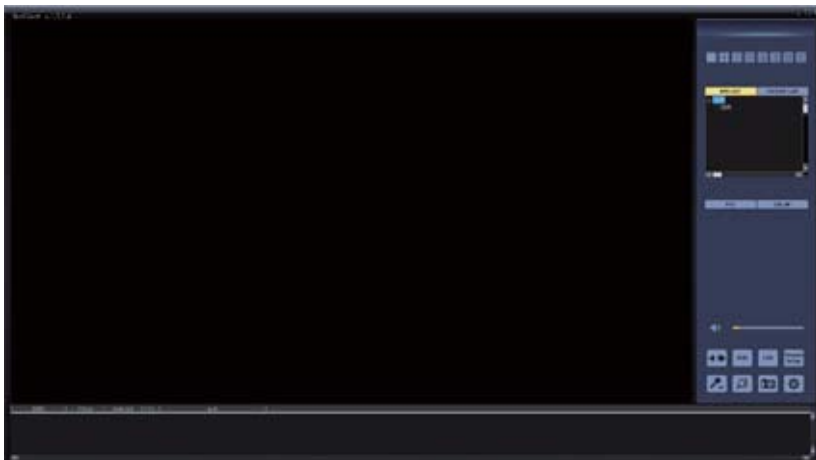


FTP SCHEDULE

FTPイベントが発生した場合に、転送するためのスケジュール設定です。この機能は、設定したときのみ、選択した曜日と時刻で動作します。



1. 中央監視システムソフトウェア「Net Client」



- 「NetClient」は、ネットワーク接続されているすべてのDVRを監視できます。
セキュリティ管理者は、PCで簡単な操作で複数台の状況を制御することができます。
- プログラムの主な特徴は、次の通りです。
 - リアルタイム画像をマルチ画面でモニタリング。
 - 画面上に最大64台のカメラの表示
 - 様々な画面モードをサポート。
(1、4、9、16、25、36、64スクリーン&シーケンスモード)
 - 遠隔再生 / バックアップ&ローカル再生 (バックアップファイルのビュー)
 - 遠隔制御 DVRの設定 / PTZカメラの制御
- PC用システム要件
 - オペレーティングシステム : Windows XP / Vista / 7 / 8
 - CPU : デュアルコア以上
 - RAM : 1GB以上 (2GB以上メモリを推奨)
 - VGA : 128MBグラフィックメモリまたはそれ以上

1-1. プログラムインストール

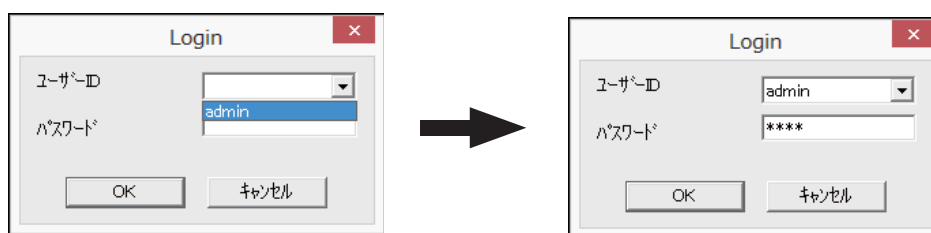
- 付属のCD-ROM内に保存されているプログラムファイルから「インストールプログラム」を実行してください。
- インストール後にアイコンがデスクトップに作成されます。
ダブルクリックして起動します。



1-2. ログイン

- ソフトウェアを実行すると、ログインウィンドウが表示されますので、ID とパスワードを入力します。
※この ID とパスワードは、プログラムを入力するためのものであり、DVR のものとは異なります)
※デフォルト（初期設定値）の ID = admin、パスワード= 0000（数字 0 を 4 つ） です。

- ・ユーザー ID はスクロール画面から選択します。
- ・パスワードは任意の文字を入力します。
- ・「OK」を選択し、ログインを実行します。



1-3. メイン画面

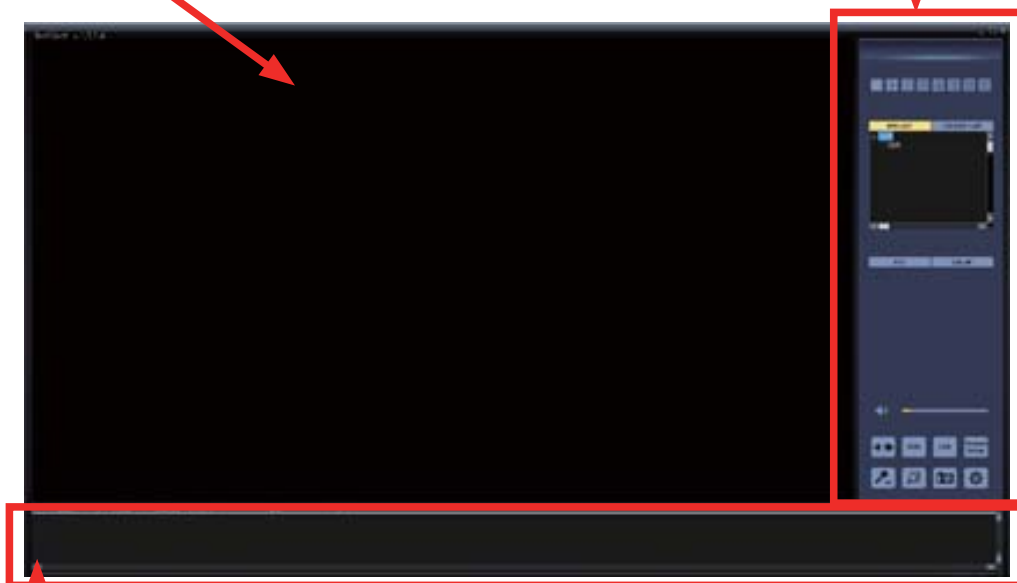
- ソフトの起動時は映像は表示されません。
DVR をソフトに登録し、各アイコンで画面を切り替えるなど操作します。
各種アイコンは「コントロールバー」内に表示されています。

画面表示部

- ・カメラ映像が表示されます。

コントロールバー

- ・操作ボタンが表示されます。



ステータス表示部

- ・接続状態など操作の状態が表示されます。

1-4. コントロールバー

操作ボタンが表示されています。各ボタンで、画面の切替やソフトの設定、DVR の遠隔設定などを行います。

●分割表示切替ボタン

表示画面を、「1/4/9/16 (/25/36/49/64)」分割表示画面に切り換えます。

単画面 - 分割画面への切替は、指定するチャンネル枠上でダブルクリックをしても操作できます。

※「25～」の表示は「グループ設定」で複数台の DVR を登録した場合にのみ有効となります。



●DVR リスト

「NetClient」に登録されている DVR を表示します。

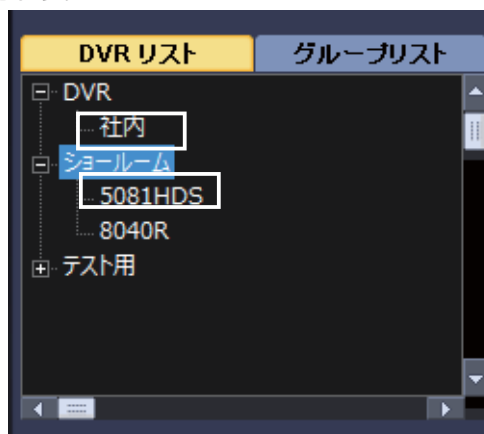
「DVR LIST」では、登録した DVR に個別にアクセスします。

「GROUP LIST」では、「Comfig」画面で作成したグループを表示します。作成されたグループへは、一度の接続で同時に複数台の DVR へアクセスし、登録した全てカメラ映像を分割表示させることができます。最大 64 台までカメラをグループ化できます。

アクセス時には、アクセスする DVR 名を選択し、画面下部の「接続ボタン」をクリックします。

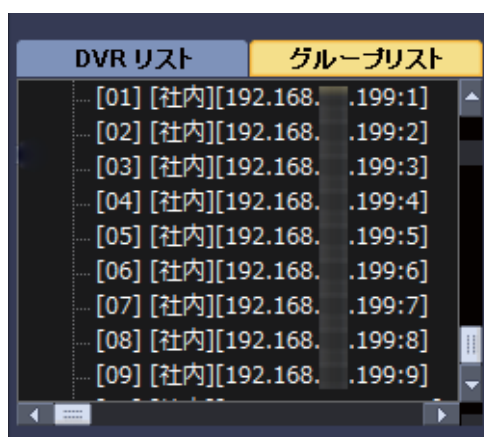


の状態が接続済となります。



同様に、「GROUP LIST」でも同じ操作を行います。

その際は、グループ内すべての DVR へ接続し登録されたカメラ映像を表示します。



DVR を選択しないとエラー画面が表示されます。再度 DVR 名をクリックし選択してください。



● PTZ コントロール

DVR に接続された PTZ カメラを操作します。ボタンをクリックすると操作パネルが表示されます。

※操作は PTZ 機能対応カメラが接続されている場合に有効です（後述）



● カラーコントロール

画面表示の明るさなどを調整します。

ボタンをクリックし、それぞれのカーソルを移動させて表示調整します。

※単画面表示時のみ有効となります。

・ BRIGHT

明るさを調整します。

・ COLOR/SATURATION

色味を調整します。

・ CONTRAST

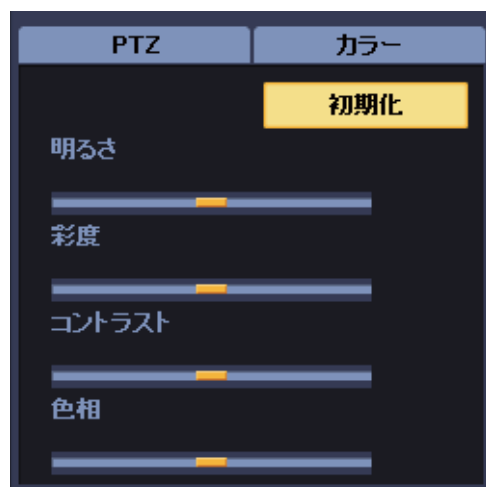
輝度を調整します。

・ COLOR/HUE

色彩を調整します。

・ DEFAULT

変更内容をすべて初期化します。



※この操作では、DVR 内の「DVR 設定」⇒
「カメラ」⇒「カラー」の項目内を操作
します。

●操作ボタン

前述の接続をはじめ、「遠隔再生画面」「ローカル再生画面」「遠隔設定画面」などの設定画面を表示したり、【スナップショット】を行います。また、NetClient の設定を行う「Config 画面」を表示させます。

・音声

音声のボリュームを調整します。



・接続

DVR へアクセスまたは切断します。



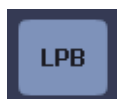
・RPB

NetClient から接続されている DVR の録画データを検索し再生します。



・LPB

DVR 本体にてバックアップ操作で作成されたデータを検索、再生します。

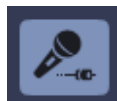


・遠隔設定

接続中の DVR の録画設定など一部の設定を NetClient で操作して変更します。
※「ウェブポート」を使用します。

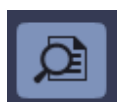


・双方向オーディオ



・ログ

接続中の DVR の操作履歴を検索し表示します。



・スナップショット

選択したカメラの映像を静止画として保存、印刷します。
BMP 形式で任意の場所に保存できます。
(P12 の操作を参照)



・Config

NetClient 自体を設定します。
DVR の登録や、グループ化設定を行います。



2 各種操作

ソフトの基本的な操作方法です。

2-1 DVR 登録

手順 1 NetClient を起動し、「Config 画面」を表示します。



←をクリックします。

手順 2 設定画面内の「DVR」を選択し、登録画面を表示します。

The screenshot shows a 'Setup Dialog' window with a left sidebar containing a tree view with 'DVR' selected. The main area contains several input fields for configuration:

サイト名	DVR
DVR名	社内
アドレス	192.168.11.199
ポートNo.	7650
ユーザーID	ADMIN
パスワード	****
カメラチャンネル数	DVRタイプ

Below the fields is a table with the following data:

サイト名	DVR名	アドレス	ポートNo.	ユーザーID
DVR	社内	192.168.11.199	7650	ADMIN

手順 3 各項目に DVR の情報を入力します。

サイト - - - - - 登録する DVR の所属するグループ名を入力します。同じサイト名で登録することで個々の DVR を同一のグループに組み込みます。

※ツリー状の表示になり、サイト名の下に DVR 名が追記されます。

DVR 名 - - - - - DVR の所属が分かるように、DVR 名称を入力します。

アドレス - - - - - DVR のネットワーク設定で作成した DVR のアドレスを入力します。
DDNS アドレス、または IP アドレスを入力します。

ポートNo. - - - - - DVR のネットワーク設定した作成したポート番号を入力します。

ユーザー ID - - - - - DVR のログイン時に使用しているユーザー ID を入力します。

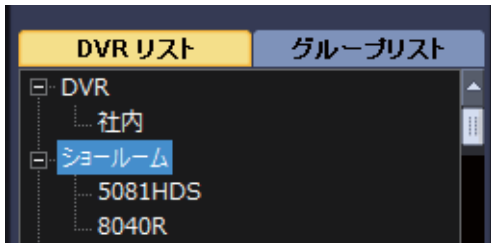
パスワード - - - - - DVR のログイン時に使用しているパスワードを入力します。

カメラチャンネル数 -- 登録する DVR のチャンネル数を選択します。使用する DVR のチャンネル数を選択してください。

最後に設定を保存します。画面下部の「保存」ボタンを押します。

画面右上の「×」で画面を閉じてください。

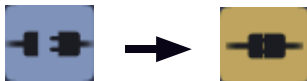
手順 4 「DVR LIST」に保存された設定が反映されます。



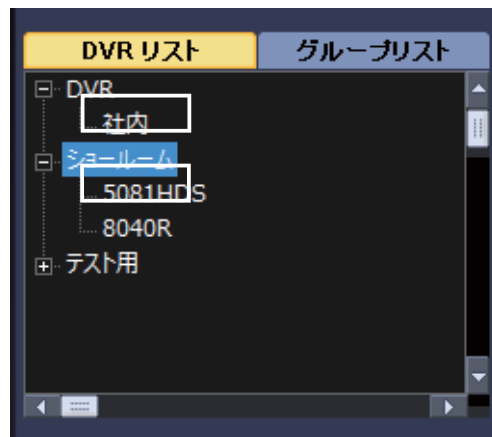
手順 5 「NetClient」に登録した DVR を選択します。

「DVR LIST」で、登録した DVR に個別にアクセスします。登録した DVR をクリックして、選択します。

アクセス時には、アクセスする DVR 名を選択し、画面下部の「接続ボタン」をクリックします。

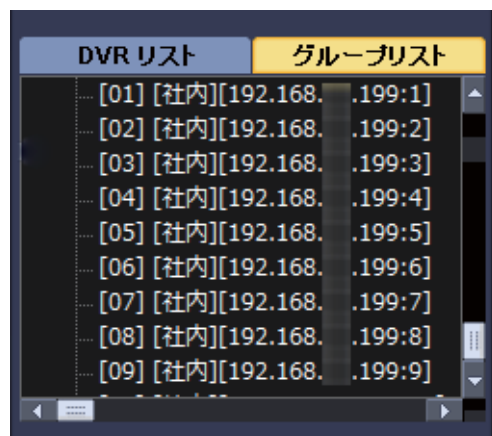


の状態 で接続済となります。

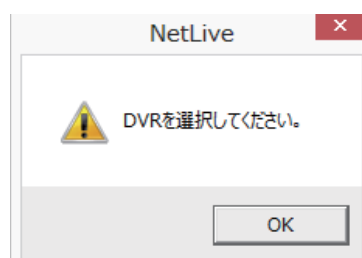


同様に、「GROUP LIST」でも同じ操作を行います。

その際は、グループ内すべての DVR へ接続し登録されたカメラ映像を表示します。



DVR を選択しないとエラー画面が表示されます。再度 DVR 名をクリックし選択してください。



2-2 録画データの再生（リモート再生モード）

接続中の DVR に保存された録画データを検索し再生します。

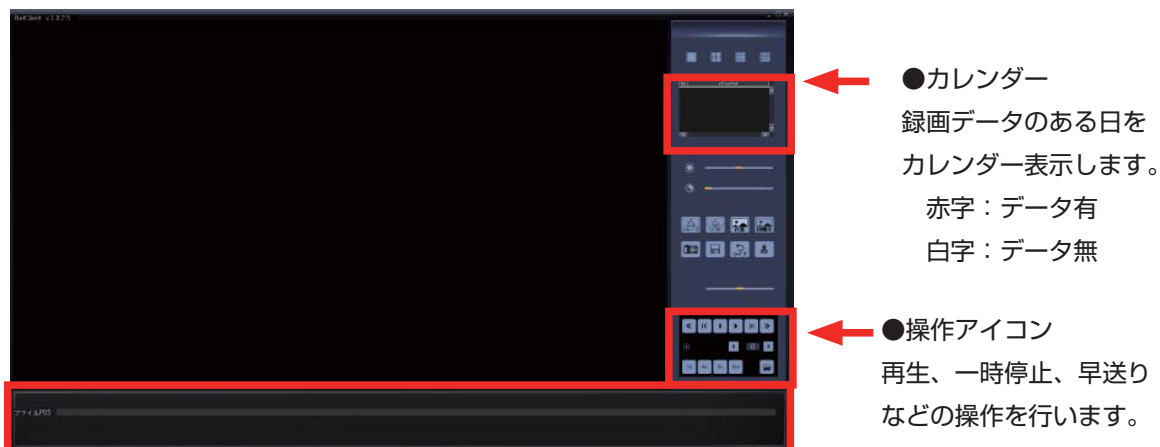
手順 1 再生した DVR をリストから選択し、リモートプレイバック画面（RPB 画面）を表示します。

※別ウィンドウが作成されます。



←をクリックします。

手順 2 切り替わった画面で、検索して再生する日時を選択します。



●カレンダー
録画データのある日を
カレンダー表示します。
赤字：データ有
白字：データ無

●操作アイコン
再生、一時停止、早送り
などの操作を行います。



●時刻バー

録画データのある時間を表示します。

黄色：データあり

※薄い色は目盛り 10 の区切りの目印です

赤色：現在選択中の時刻

黄色のバーがない部分は録画データがありません。

手順 3 再生操作

再生したい日、時、分の順に指定（クリック）して、再生を実行します。

P 9 を参照して下さい。

1. 「カレンダー」から再生したい日をクリックします。
2. 画面下部の「時刻バー」から、再生したい時間をクリックします。
さらに同じバーの下段から分を選択します。
3. 分まで選択し終わったら、「操作アイコン」で再生を行います。

※各画面に時刻が表示されます。過去の日時になっていることを確認してください。

2-3 再生速度の操作

コントロールボタンで早送りと巻き戻し、コマ送りや一時停止を行います。

早送り速度、再生速度の変更も行えます。各ボタンの機能を確認して操作してください。

また図-1 図-2 のボタンで、再生速度を変えることができます。

① 巻き戻し

画像を巻き戻します。速度変更が
できます。

※巻き戻し時は 1 秒単位で戻ります。

② 最初に戻る

一時停止中に操作します。

1 クリック毎に数秒単位で戻ります。

③ 一時停止

画像を一時停止します。

送り速度の変更は、一時停止時に
行います。

④ 再生

画像の一時停止を解除したり、通常の
速度での再生を行います。

また再生速度を速くできます。

⑤ コマ送り

一時停止時に操作します。

1 クリック毎に 1 コマ進みます。

⑥ 早送り

画像を早送ります。速度変更が
できます。

※巻き戻し時は 1 コマ単位で速く
進みます。

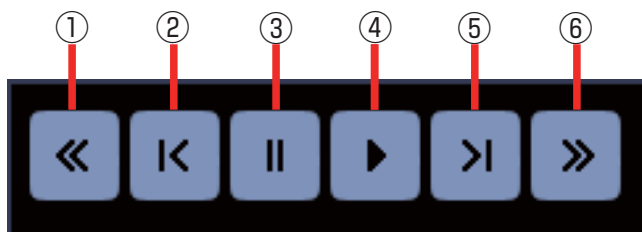


図-1 早送り / 巻き戻し速度の変更

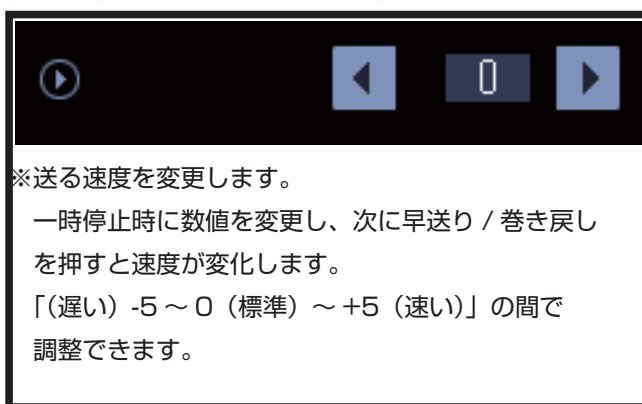
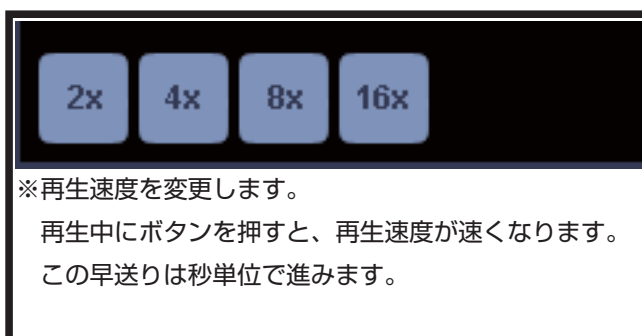


図-2 秒送り



2-4 その他の操作

再生中には映像表示の変更や、静止画保存などを行うことができます。

⑤-1 画面表示の調整

一時停止中に、単画面表示に切り替えて映像の明るさなどを調整します。操作アイコンを押して、表示を切り替えます。

ボタンの色が明るくなると操作が有効になります。

明るさ：画面の明るさを調整します。

コントラスト：画面の明暗を強調します。

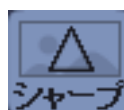


※画面調整は、ボタンをクリックして
効果のオン/オフで効果を切り替えます。
※モニター表示にのみ反映されます。

Sharp：映像をシャープにします。
Soft：映像をソフトフォーカス状にします。
B/W：映像をモノクロ表示にします。
Default：効果を初期化します。



グレー：操作不可



薄い青：操作可
効果はオフ



グレー：効果はオン

2-5 バックアップ操作

再生中の映像の静止画を取得したり、再生データをパソコンへ移動させる操作を行います。

①スナップショット

単画面表示時で一時停止中に「スナップショット」ボタンをクリックすると、その瞬間の静止画を「BMP形式(.bmp)」で保存できます。

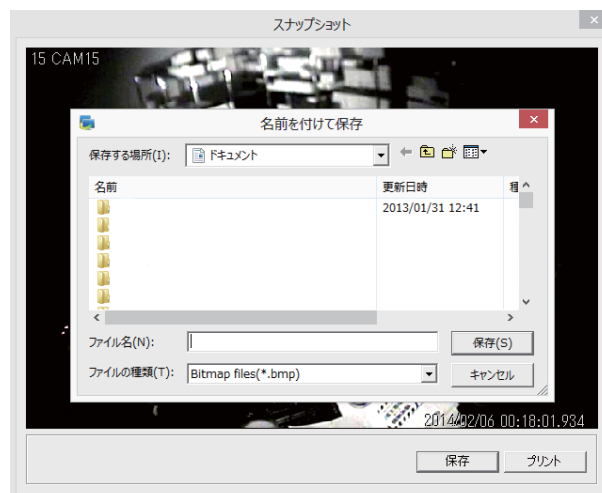


手順 1

ボタンをクリックすると、静止画ウィンドウが表示されます。「保存」をクリックすると、保存場所の選択画面が表示されます。お使いのPCの任意の場所に保存できます。

手順 2

「プリント」を選択すると、お使いのPCに接続されたプリンターを選択する画面が表示されます。任意のプリンターを選択し、印刷できます。



②バックアップ

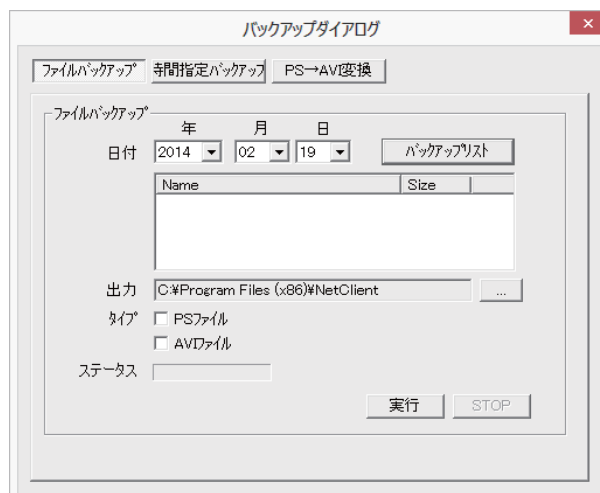
分割画面表示時で一時停止中に「バックアップボタン」をクリックすると、「バックアップダイアログ」画面が表示されます。

バックアップファイルは、

- ・ AVI 形式（一般的な動画ソフトで再生可）
※ 1 チャンネル= 1 ファイルで作成
- ・ PS ファイル形式（NetClient でのみ再生可）
※ 1 ファイルで作成

の形式を選択できます。

保存する場所は指定できますが、指定が無い場合「NetClient」をインストールした場所の、フォルダ内に作成されます。



②-1 ファイルバックアップ操作

指定した日付内に録画されたデータをファイル単位でバックアップします。

手順 1

バックアップする日付を指定します。

「バックアップリストボタン」をクリックしその日に作成されたデータファイルをリスト表示します。

手順 2

リストからデータを選択し、クリックします。

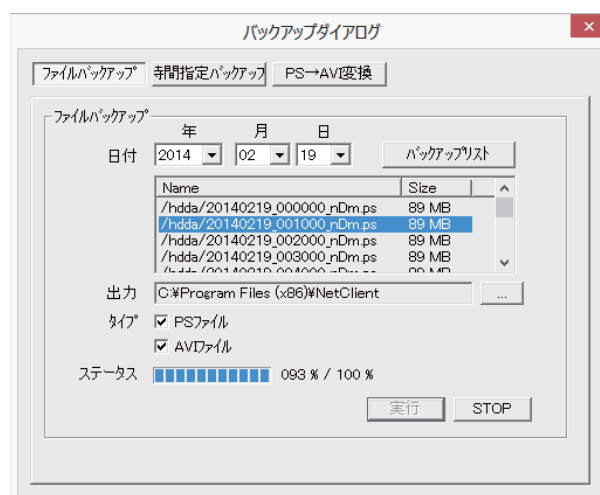
出力：保存先を選択します。

タイプ：ファイル形式を選択します。

手順 3

「実行」をクリックします。ステータスで進行状況を確認できます。

「STOP」をクリックすると中断します。中断時はデータの無いファイルが作成されます。



②-2 時間指定バックアップ操作

録画データの日/時/分/秒/チャンネルを指定して、開始時間～終了時間の間をバックアップします。

※指定した期間を保存できますが、長時間の場合処理自体も長時間となります。ネットワークの回線状況や PC の処理速度に影響します。短時間の証拠映像の抽出を推奨します。

手順 1

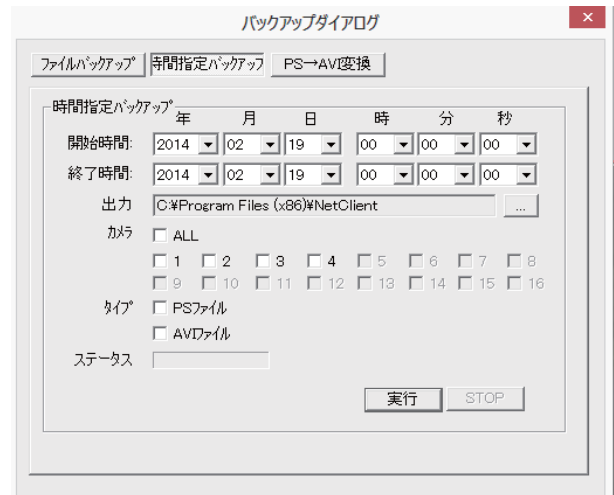
バックアップデータの範囲を選択します。
開始時間、終了時間を指定します。

手順 2

出力 : 保存先を指定します。
カメラ : 保存するチャンネル (カメラ) を選択します。
タイプ : 保存形式を指定します。

手順 3

「実行」をクリックします。ステータスで進行状況を確認できます。
「STOP」をクリックすると中断します。中断時はデータのないファイルが作成されます。



②-3 ファイル形式変換

PS ファイル形式を AVI 形式に変換します。
その際はチャンネルを指定することができます。

手順 1

変換する PS ファイルを保存先から指定します。
また、変換後の AVI ファイルの作成先を指定します。

手順 2

カメラ : 変換するするチャンネル (カメラ) を選択します。

手順 3

「実行」をクリックします。ステータスで進行状況を確認できます。
「STOP」をクリックすると中断します。中断時はデータのないファイルが作成されます。



③ライブ映像へ戻る

操作を終えて、通常のライブ画面に戻ります。



2-6 バックアップデータの再生（ローカル再生モード）

接続中の DVR からバックアップ操作で作成したデータを、再生します。

手順 1 再生した DVR をリストから選択し、ローカルプレイバック画面（LPB 画面）を表示します。

※別ウィンドウに表示されます。



←をクリックします。

手順 2 切り替わった画面で、検索して再生する日時を選択します。



●データ保存先
PC 内のデータの保存場所
を表示します。

●操作アイコン
再生、一時停止、早送り
などの操作を行います。

●時刻バー
録画データのある時間を表示します。
黄色：データあり
※薄い色は目盛り 10 の区切りの目印です
赤色：現在選択中の時刻
黄色のバーがない部分は録画データがありません。

●ファイルオープン
データの保存されている場所を
表示します。
検索画面を表示して、PC に保
存されている場所を選択しま
す。

手順3 フォルダオープン

画面内の「フォルダオープンボタン」を押し、ファイルの場所を検索します。
お使いのPC内のファイルが保存されている場所を選択します。

手順4 ファイルの選択

ファイルの保存されているフォルダから、再生したいファイルを選択します。
複数選択は可能です。
ファイル名は「20140000 (年月日)_010300 (時分秒)_nDm」です。
選択して「開く」をクリックすると「データ保存先」にファイルが追加されます。

手順5 再生

表示されたデータをクリックしてから、「再生ボタン」を押します。
再生操作については、「リモート再生」と同じですので、P10を参照してください。

手順6 ライブ映像へ戻る

操作を終えて、通常のライブ画面に戻ります。
「Live ボタン」を押します。



3 設定変更

NetClient のソフトウェア設定を行います。画面サイズや、表示 DVR の複数選択など、表示について設定します。

3-1 設定画面の表示

手順 1 設定画面を表示します。



←をクリックします。

手順 2 設定したい画面をクリックし、各設定の画面を表示します。

●設定項目
設定したい項目をクリックします。設定画面が切り替わります。

●設定画面
設定項目の選択により画面が変わります。

●復元 / 保存
復元：変更した項目を戻し、最後に保存した状態に戻します。
保存：変更した項目を反映させます。設定変更時には必ず操作してください。

手順 3 設定を変更したら、必ず「保存」をクリックして設定を反映させます。「保存」を押す前であれば、「復元」で設定をキャンセルできます。

3-2 各画面について

各設定画面と機能について解説します。必要に応じて操作を行ってください。

①ユーザー

ユーザー権限について設定します。

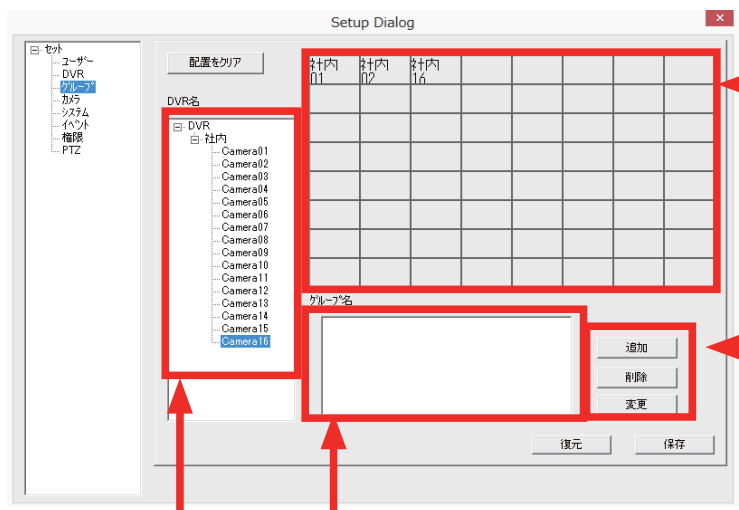
② DVR

DVR を登録する際に設定します。P 8 の登録手順を参照してください。

③グループ

カメラを 64 分割の表示に割り当て、複数の DVR を一度に画面に表示します。

※同時に表示できるカメラ台数は 64 台までです。64 台以上を管理する場合はグループを分けて設定してください。



●カメラ配置
右上から 1,2 ～の順で右に進み、右下が 64 となります。
この数字は分割表示時のカメラ位置に対応します。

●追加 / 削除 / 変更
追加：グループを追加します。
削除：グループを削除します。
変更：保存されたグループ情報を変更する際に、変更を反映させます。

●グループ名
保存されているグループが表示されます。

●カメラ名
NetClient に登録されている DVR と接続しているカメラが表示されます。
カメラ、グループ単位で配置できます。

手順 1 グループの追加

画面内の「追加」のボタンをクリックし、新しくグループを作成します。グループ名は任意に設定できます。

手順 2 グループの追加

画面内の「追加」のボタンをクリックし、新しくグループを作成します。グループ名は任意に設定できます。

手順 3 カメラの配置

画面内の「DVR 名」に表示されている登録されている「DVR 名」または「Camera (カメラ)」を任意の場所に配置します。

カメラ 1 台単位、DVR 単位選択し、ドラッグして配置します。64 分割中のどの場所にも配置可能ですが、分割表示時に見やすいよう配置します。

手順 4 配置の決定

配置中に、配置場所に失敗した場合は、その位置をクリックすることでキャンセルできます。

一からやり直す場合は、画面上部の「配置をクリア」を選択します。

また、グループ登録やカメラ配置は「保存」をしない限り反映されません。

保存した情報からさらに追加などを行う場合は「変更」をクリックすると「保存」します。

グループを登録から消す場合は「削除」→「保存」で反映されます。

手順 4 接続

P9 を参照し、グループにアクセスすると、配置した順にカメラが表示されます。

グループ内すべての DVR へ接続し登録されたカメラ映像を表示します。

※同じグループ、カメラを配置した場合は、同じカメラ映像表示されます。

※画面が小さい場合、カメラの情報の表示は省略されます。

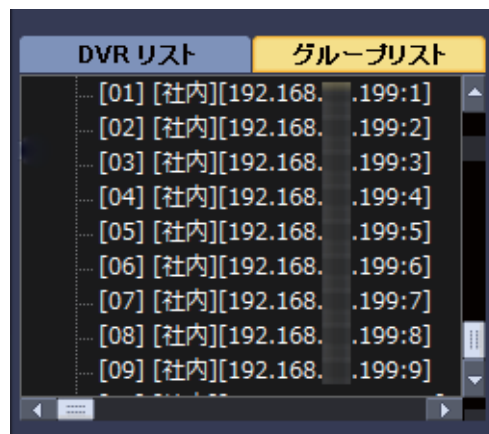
例：64 分割時は、時刻表示が省略されてチャンネルNoとフレームレートのみ表示されます。

※グループにアクセスする際は、全ての DVR との接続を一度切ってから行ってください。

アクセス時には、アクセスするグループ名を選択し、画面下部の「接続ボタン」をクリックします。



の状態で接続済となります。



④カメラ

NetClient の画面表示の内容を設定します。カメラ名や DVR 名、時間表示の ON/OFF を選択します。

● OSD
表示する項目の ON/OFF を選択します。表示する場合は、チェックボックスをクリックして選択します。

● レート
表示映像の縦横比を変更します。通常は「スクリーンレート」で表示します。

設定項目 ※設定は必ず「保存」をクリックして反映させてください。設定画面が消えると、映像に反映されます。

Cell No. - - - - - 配置された位置のNo (1 ~ 64) を表示します。

DVR 名 - - - - - 接続されている DVR 名を表示します。

アドレス - - - - - 接続されている DVR のアドレス (IP、DDNS) を表示します。

カメラ名 - - - - - DVR で設定されているカメラの名称を表示します。

時間 - - - - - 時刻を表示します。また、「年月日」の表示順を変更できます。

時間 - - - - - 時刻を表示します。また、「年月日」の表示順を変更できます。

フレーム - - - - - DVR で設定されている録画フレーム数を表示します。

Bps - - - - - 通信速度 (〇〇 kpbs) の数値を表示します。

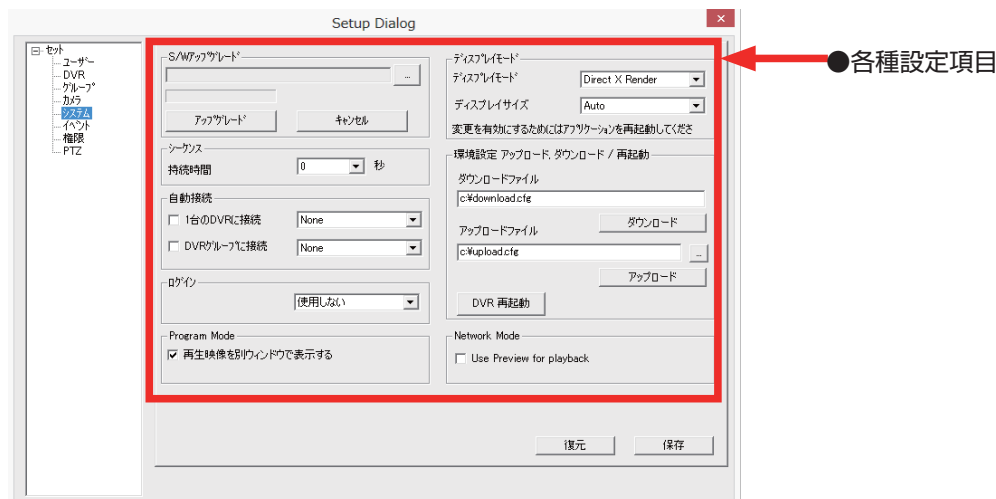
スクリーンレート - - - NetClient 上での縦横比でカメラ映像を表示します。

オリジナルイメージ - アナログ (縦横比 4 : 3) のカメラは、その比率で表示する状態になります。
レート

※ SDI カメラは 16 : 9 の比率で表示します。

④システム

NetClient についての設定を行います。



S/W アップグレード - システム (NetClient) をアップグレードします。
後述の手順をご確認ください。

シーケンス - - - - - シーケンシャル表示 (画面切り替え表示) の切替わり時間を設定します。
「0 秒 (OFF) ~ 60 秒」の間で設定します。単画面表示にした時点で設定どおりの時間で切り替え表示が開始されます。

自動接続 - - - - - NetClient 起動時に接続する DVR を選択します。初期値は「None (なし)」です。
チェックボックスを選択し、プルダウンメニューから項目 (DVR) を選択します。
「1 台の DVR (登録済の任意の DVR) または DVR グループ」を選択します。

ログイン - - - - - NetClient 起動時にログイン画面を表示させるかどうかを選択します。ログイン時の ID、パスワードは、「①ユーザー」で設定した内容を入力します。
「使用しない」場合は、起動時にはパスワード入力など不要になりますが、セキュリティ上必要に応じて設定してください。

プログラムモード - - - 再生時 (RPB や LPB 画面) をライブ映像とは別のウィンドウで表示する際に
選択します。チェックを外すと、1 つの画面で切り替えながらの表示が必要です。

ディスプレイモード – ディスプレイ上の表示サイズを設定します。

ディスプレイモードは、お使いのパソコンの環境に合わせてください。一般的なディスプレイでは初期値 (Direct X Render) のままで使用します。

ディスプレイサイズは、「Auto (お使いのディスプレイに合わせて自動設定) ~ 各種サイズ」を設定できます。この設定したサイズは固定で、任意にサイズ変更はできません。最大化・最小化のみ対応します。

変更を~ - - - - - 接続している DVR の現在の設定情報 (コンフィグデータ) をダウンロードして、他の機器へ設定情報を転送することができます。

ダウンロード時は任意の場所とファイル名を選択できます。同様にアップロードも行えます。「~.cfg」というファイルで行います。

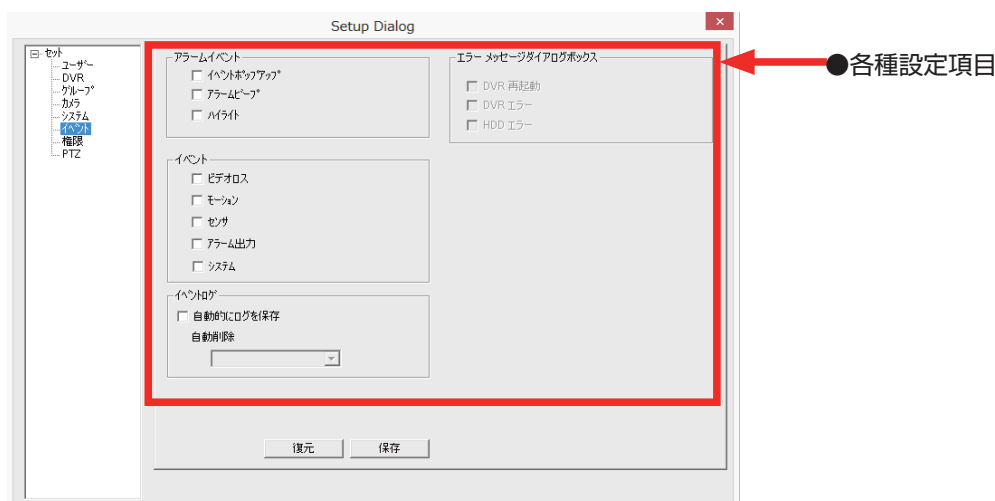
また、DVR 本体から取得したコンフィグデータを、NetClient を経由してアップロードすることも可能です。

CONFIG データは「DVR の再起動」を選択して行い、設定を反映させます。

ネットワークモード – 「再生確認プレビュー」機能にチェックを入れておくと、「リモートプレイバック」操作時に再生しようとする時間のプレビュー画面が表示されます。

⑤ イベント

イベントに関連した表示について設定します。



アラームイベント - - - 「イベントポップアップ」

イベント発生時に、設定されたカメラの画面を 1 画面表示します。

「アラームビープ」

イベント発生時に、ビープ音を発します。

「ハイライト」

イベント発生時に、設定されたカメラの画面枠を線で囲い検知時を表示します。

イベント - - - - - DVR 側で検知したイベント反応を、NetClient 側で通知します。ここでは、通知させたいイベントの種類を選択します。DVR 側で検知していても、この設定が有効となっていない場合 NetClient では通知されません。

「ビデオロス」

ビデオ信号が途切れた時（ビデオロス）時を認識します。

「モーション」

動体を検知（モーション検知）時を認識します。

「センサー」

センサー検知時を認識します。

「アラーム出力」

アラーム出力が発生した時を認識します。

「システム」

システム上での設定変更などがあった時を認識します。

イベントログ - - - - - イベントの起こったログ履歴を保存する場合に、チェックを入れます。また、ログの保存期間を設定し、自動的に削除します。

「使用しない（ログは削除されない）～保存期間（15 日～6 ヶ月）」で設定できます。

エラーメッセージ - - - DVR 側で発生した機器エラーを、NetClient 側で通知します。ここでは、ダイアログボックス - - - 通知させたいイベントの種類を選択します。DVR 側で発生していても、この設定が有効となっていない場合 NetClient では通知されません。

リモートアラーム制御 - - - 各種検知時に、DVR の「アラーム出力」を ON/OFF 選択します。ON の場合は、ボタンを押して選択します。

⑥ 権限

DVR 毎に NetClient 経由での操作権限、イベント表示権限を設定できます。



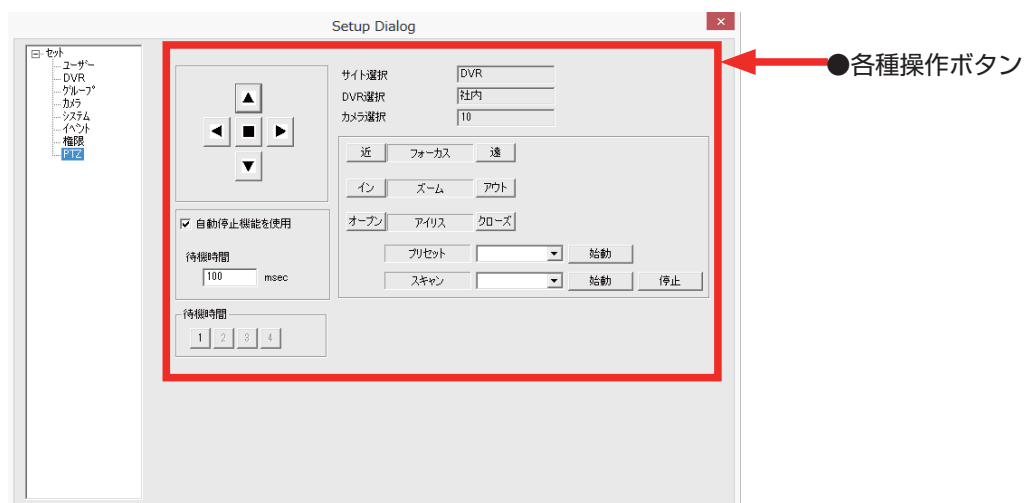
ユーザー ID - - - - - 権限を設定するユーザー ID を設定します。「admin (最高権限)」以外の追加作成ユーザー ID について設定できます。ユーザー ID の追加作成は①ユーザーで作成できます。

DVR リスト - - - - - 権限を変更したい DVR を選択します。チェックボックスにチェックを入れた DVR は同時に権限が設定されます。

イベント / - - - - - ⑥のイベント通知の中で、システム変更時のみ選択できます。
 アラームイベント / | ⑥のイベント通知の中で、アラーム検知時は「ハイライト」表示のみ選択できます。
 操作権限 / | この権限で操作できる内容を選択します。
 エラーメッセージ |
 ダイアログ - - - - -

⑦ PTZ

接続している PTZ カメラの OSD メニューを呼び出し、設定操作します。



PTZ カメラが接続されている DVR の場合、PTZ カメラの設定、操作を行います。また、PTZ カメラの OSD メニュー設定も行います。

※弊社製品「NS-901PRC」との接続時の操作案内となります。

※ NetClient で操作できる「プリセット、スキャン」機能は、DVR 側に登録された情報を元に操作します。PTZ カメラ側のプリセット機能呼び出すことはできません。

※ NetClient 側から PTZ カメラを直接操作できる項目は下記の項目となります。

- ホームポジションの設定、変更
- カメラ自身の機能の設定
- カメラ自身の PTZ 機能（旋回速度、再起動など）の設定
- プリセット、スキャン、パターンの各稼働の設定と、操作しない状態での自由稼働状態での動作。
例：ホームポジションを「ツアー」に設定し、操作終了後 10 分後自動的に、記憶させたプリセット位置を巡回する設定を登録します。

※操作できない項目は下記の通りです。

- カメラ側に保存されているプリセット、パターンなどの呼び出し

- 操作ボタン - - - - - PTZ カメラの向きを上下左右操作します。または、OSD 設定画面ではカーソルの上下左右操作を行います。特に「NS-901PRC」接続時については、OSD 設定画面上では、「右」が決定の機能となります。
- 自動停止機能 - - - - - NetClient で操作する場合の、ワンクリックでの稼働域を設定します。「0（稼働範囲が少ない）～1000（稼働範囲が大きい）」となります。細かな設定をする場合は数字が少ない方がよいですが、大きく画面を振る場合は、その都度数値を大きくしてください。※数値は 1000000 など大きな桁を入力できますが、操作処理上負荷がかかるため、最大 1000 までにとどめてください。この機能を有効とする場合には、チェックボックスにチェックを入れます。
- サイト情報 - - - - - 現在メニュー画面が認識している DVR と PTZ カメラの所属情報を表示します。
DVR 選択 NetClient 画面上での単画面表示時か、「カメラ選択」のチャンネルNoが
カメラ選択 PTZ カメラが接続されているチャンネルと一致しているか確認してください。
- フォーカス - - - - - カメラのピントを調整します。焦点の位置を「近い-遠い」の間で調整します。画面を見ながら操作してください。
- ズーム - - - - - カメラのズームを調整します。「イン（拡大）-アウト（広角）」の操作を行います。また、OSD 設定画面を操作します。「イン」は PTZ 設定画面ではプリセット画面などでの選択時に設定進行の操作を行います。
- アイリス - - - - - カメラの絞りの調整を、現在撮影している画像を見ながら行います。自動調整です。また、OSD 設定画面では、「オープン:メニューを戻る」「クローズ:メニューを進む」の意味となります。
- プリセット - - - - - DVR に設定されたプリセット位置を呼び出します。スクロールバーからプリセットナンバー（PTZ01 等）を選択します。また、「OSD Menu」を選択すると、PTZ カメラ側の設定メニューを呼び出し、カメラ内部の設定などを行います。（NS-901PRC 接続時）
- スキャン - - - - - DVR に設定されたスキャン稼働を呼び出します。スクロールバーから選択します。

スマートフォンでインストール

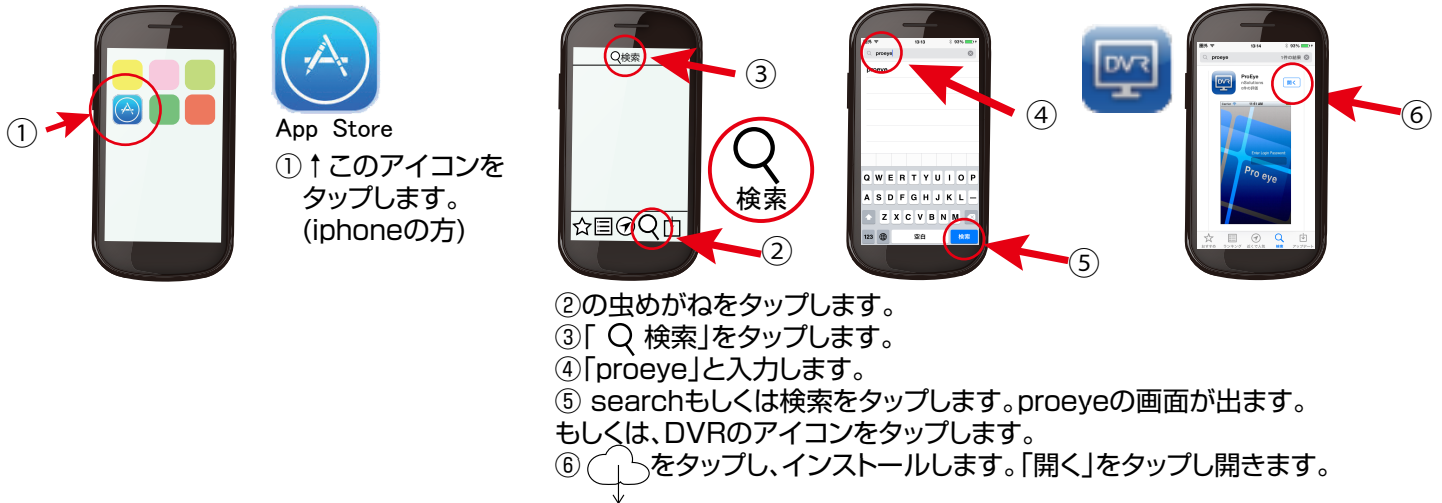
モバイルアプリケーション

録画装置はiphoneやAndroid端末からの遠隔監視機能に対応しています。

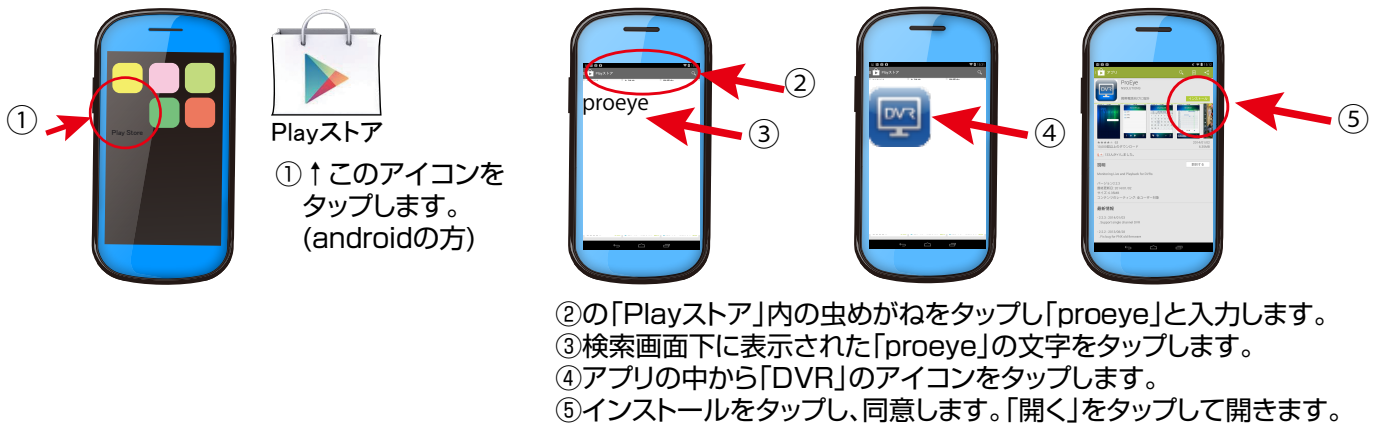
アプリケーションの機能には、ライブビュー、PTZ制御、カレンダー検索とイベント検索があります。

1. インストール

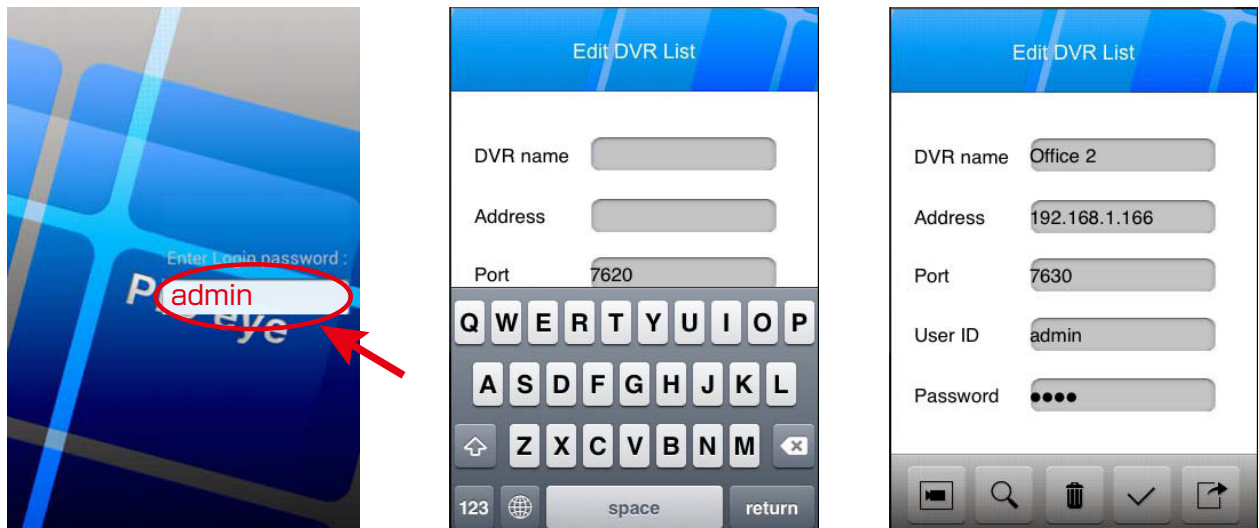
1-1. iphoneをお使いの方は、App Storeに進み”proeye”を検索しインストールしてください



1-2. androidをお使いの方は、Play ストアに進み”proeye”を検索しインストールしてください



2. アプリケーションを起動して録画装置の情報を登録する



2-2.ログイン後に録画装置の情報を登録してください。画面内に下記の項目を入力します。

- DVR name: 録画装置の名前を入力(任意)
- Addrss: IPアドレスまたは録画装置のドメイン名を入力
- Port: 録画装置のクライアントポートを入力
- User ID: 録画装置のIDを入力 (初期userID adminと入力)
- Password: 録画装置のパスワードを入力 (初期パスワード0000と入力)



>> ライブ監視へ



>> 検索モードへ



>> 録画装置の情報の削除



>> 保存してリストへ



>>保存せずにリストへ



3. ライブ監視

DVRリストの“ライブ監視アイコン”をタップ



1,4画面分割サポート

CH-&CH+ボタンで、次の画面または前の画面に移動することができます

1ch画面ではPTZコントロールメニューが操作出来ます。

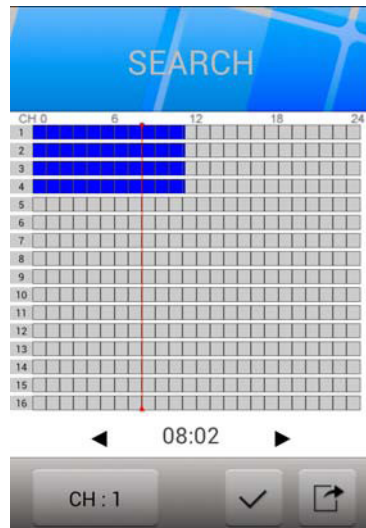
(PTZカメラは、DVRにインストールして設定する必要があります。デジタルズームはサポートしていません)



4. 検索モード

DVRリストの“検索モードアイコン”をタップ

4-1. カレンダー検索




録画検索を行います。

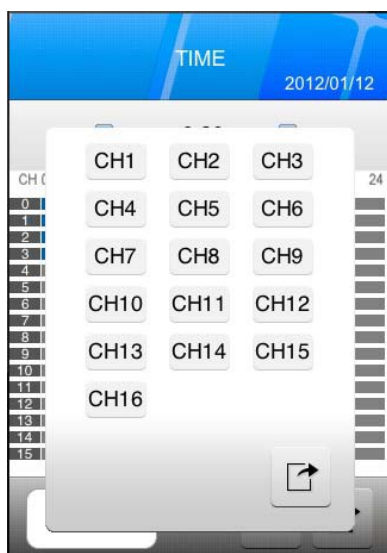
カレンダー上で、データのある日付は黒字で表示されています。まずは検索したい日付を選択してください。次に検索方法を選択します。

時間表検索

タイムバーから再生したい時間を表示させます。

1. 日付を指定し、上記のボタンを押します。
2. 再生させたいカメラのCHを指定します。
3. TIMEバーが表示されますので、縦軸の赤いラインをドラックして時間を指定します。

4.  ボタンを押して、再生を開始します。



4-2. イベント検索



1. カレンダーにて日付を選択します。



2. ボタンをタップします。

3. 再生したい時間の開始時間「Start」、終了時間「Stop」の各時間を、△をタップして数字を選択します。



4. ボタンで、再生を開始します。

4-3.その他設定

ソフトを起動した状態での画面表示です。



TOP画面

バージョン情報



設定画面



DVRの追加



※前ページの登録画面へ移動します。

設定画面

- Initial Screen mode:画面サイズを設定します。
※アンドロイドモバイルの場合は、セットアップで「Full screen」のON/OFFを「オフ」にしてください。
「オン」にすると、画像縦横比がワイドになって黒い部分が表示されます。
- OSDsetup:画面表示の、フレーム数(FPS表示)のON/OFFを選択します。
- Password:ログインパスワードを任意の数値に変更します
「New」の項目に新しいパスワードを入力し、「Confirm」に確認用のパスワードを再入力します。